

# 熊本県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれており、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川（きくちがわ）、球磨川（くまがわ）などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれている。

また、三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17℃前後、阿蘇地方で13℃前後、年間降水量は平地で約2,000mm、山地で約3,000mmとなっている。

さらに、日本最大の干潟を有する有明海、内湾で東シナ海に湾口を開く八代海、対馬暖流に面する天草灘の3海域を有している。

産業構造は、県内総生産（令和4年度：6兆5,651億円）を産業別にみると、第1次産業が1,859億円（2.8%）、第2次産業が1兆9,205億円（29.3%）、第3次産業が4兆3,695億円（66.6%）となっている。

豊かな自然の恵みを背景に、農業では、米・野菜・果樹・畜産をはじめ多彩な農畜産物が、林業では、すぎやひのきなどの木材や、しいたけなどの特用林産物が生産されている。水産業では、3海域の特徴を活かした養殖業や、漁船漁業が盛んに行われている。

熊本県では、「食のみやこ熊本県」の創造に向けて、農林畜水産物の生産・加工から販売に至るまでの過程を磨き上げるとともに、豊かな食文化を活かした高付加価値化等を図り、「稼げる農林畜水産業」の実現に取り組んでいる。

また、その要となる担い手の確保・育成を図るため、就業希望者への相談対応から就業・定着まで段階に応じた切れ目ない支援体制を整備。特に、親元就業をはじめとした新規就業者の確保・育成を推進している。

農業就業人口は、全国と同様に高齢化等により減少する中、新たな担い手となる新規就農者の就農形態は、親元就農、新規参入や農業法人への雇用就農など多様化している。

これらに対応するため、県では、第一線で活躍する農業経営者・学識経験者らが講師となり、次世代の農業を担う農業者を育成するための「くまもと農業経営塾」や、最新の農業知識や農業技術等をテーマにした学びの場である「くまもと農業アカデミー」を開催し、担い手の育成を図っている。

## 主な農林水産物

### 米

西日本有数の米生産県であり、平成30年本格デビューの「くまさんの輝き」「森のくまさん」などの特色ある米を生産。

（収穫量全国16位）



### い（い草）

県オリジナル品種「涼風」等を育成。平成28年2月に「くまもと県産い草」、「くまもと県産い草畳表」はG I登録。（収穫量全国1位）



### すいか

促成栽培により、全国に先駆けて出荷。熊本、鹿本菊池、上益城が主な産地。

（収穫量全国1位）



### トマト

八代・玉名の冬春トマト阿蘇・上益城の夏秋トマトなど、地勢や気象条件を活かして周年生産。

（収穫量全国1位）



### みかん

海岸島しょ地域の気候を活かし、県独自品種を含めたりレー出荷を実施。

（収穫量全国4位）



### 不知火類（登録商標：デコポン）

皮がむきやすく食味が良い柑橘類。県独自品種「肥の豊（ひのゆたか）」の導入により品質向上。

（収穫量全国1位）



### 肉用牛

黒毛和種、褐毛和種（あか牛）、交雑種など多彩な肉用牛を生産。平成30年9月には「くまもとあか牛」がG Iに登録。

（飼養頭数全国4位）



### 宿根かすみそう

菊池、宇城、天草で栽培が盛ん。全国有数の生産量を誇り、冠婚葬祭等のニーズに対応。

（出荷量全国1位）



### 木材（すぎ・ひのき）

育苗技術を活かして県下一円で植栽。

（すぎ：素材生産量全国5位）（ひのき：素材生産量全国2位）



### まだい・くるまえび（養殖）

温暖な気候を活かした海面養殖業が盛ん。

（まだい：収穫量全国2位）（くるまえび：収穫量全国3位）



# 熊本県内の各地域における農林水産物

## 県央地域

【農産物】トマト、すいか、メロン、なす、みかん、不知火類（登録商標：デコポン）、日本なし、くり、かき、宿根かすみそう、洋ラン、トルコギキョウ、茶

【林産物】乾しいたけ、たけのこ、竹材

【水産物】のり、あさり、くるまえび

## 天草地域

【農産物】不知火類（登録商標：デコポン）、河内晩柑、宿根かすみそう、トルコギキョウ、キク

【林産物】きくらげ類

【水産物】まだい、しまあじ、くるまえび、ぶり、ひらめ、このしろ、ふぐ類

## 県北地域

【農産物】トマト、いちご、すいか、なす、みかん、日本なし、くり、キンカン、宿根かすみそう、トルコギキョウ、キク、茶

【林産物】乾しいたけ、たけのこ、竹材、竹炭、竹酢液

【水産物】のり、あさり、くるまえび

## 県南地域

【農産物】トマト、いちご、メロン、なす、ブロッコリー、カリフラワー、しょうが、不知火類（登録商標：デコポン）、甘夏みかん、晩白柚（柑橘類）、日本なし、くり、トルコギキョウ、キク、畳表（い草）、茶

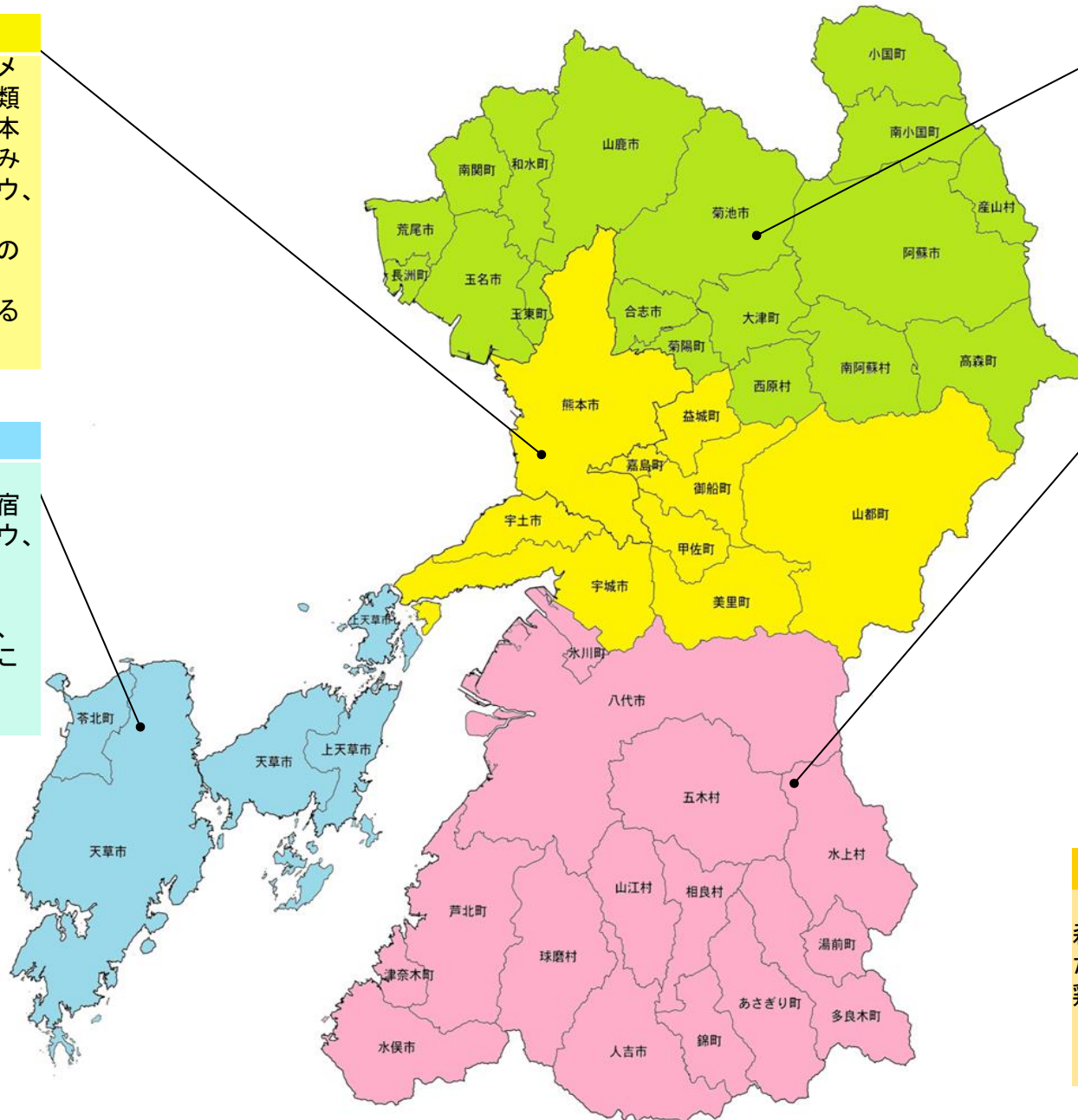
【林産物】乾しいたけ、きくらげ類、木炭、竹炭

【水産物】たちうお、このしろ

## 県全域

【農畜産物】水稲（くまさんの輝き、森のくまさん、ヒノヒカリ等）、葉たばこ、牛乳、牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、馬肉、蜂蜜

【林産物】すぎ、ひのき



出典：「くまもとの農林水産業2025」、「熊本県主要野菜生産状況調査について（R5年産、R6年産）」、「令和6年産熊本県果樹振興実績書」

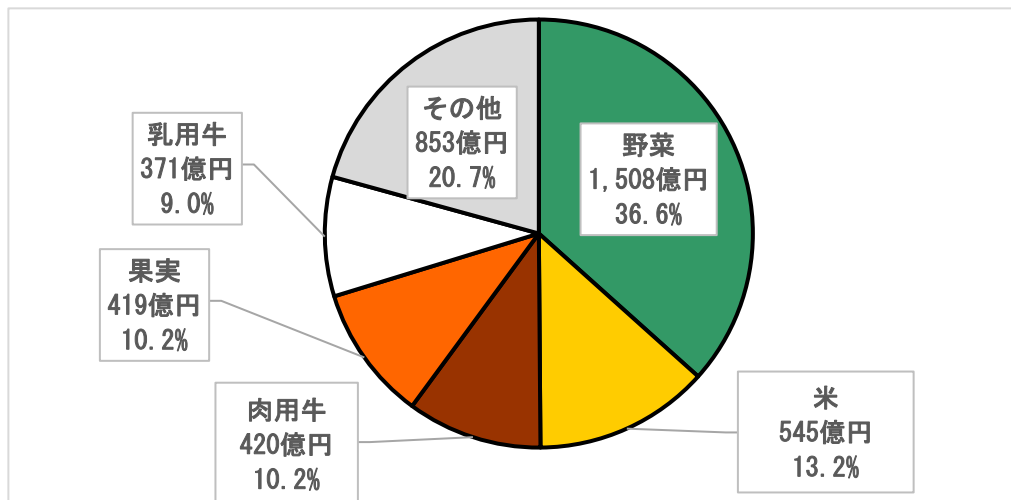
「熊本県花き生産実績（R6年産）」、「熊本県林業統計要覧（R5年度）」、「熊本県の水産（R7年度）」を基に作成

注：デコポンとは、熊本果実連の登録商標であり、日園連傘下の農業団体を通じて出荷された不知火類のうち全国統一基準を満たしたものをいう。

# 熊本県の農業（1）

- ・農業産出額は4,116億円で全国6位。うち米が545億円（13.2%）、野菜が1,508億円（36.6%）、畜産が1,347億円（32.7%）。
- ・農畜産物の生産状況は、トマト、すいか、宿根かすみそう、い（い草）、シラヌヒが全国1位、なす、メロンが2位。

## 農業産出額の概略



## 農畜産物の生産状況

区分	年次	熊本県	全国	全国順位	
水稲	収穫量	R7	169,100 t	7,790,000 t	16
トマト	収穫量	R6	129,400 t	663,600 t	1
なす	収穫量	R6	33,600 t	280,200 t	2
メロン	収穫量	R6	20,900 t	137,500 t	2
すいか	収穫量	R6	42,100 t	299,000 t	1
みかん	収穫量	R6	63,800 t	559,600 t	4
宿根かすみそう	出荷量	R6	17,900 千本	47,600 千本	1
肉用牛	飼養頭数	R7	133,200 頭	2,595,000 頭	4
い（い草）	収穫量	R7	3,630 t	3,630 t	1
シラヌヒ	収穫量	R5	10,085 t	35,388 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「特定作物統計」、「特産果樹生産動態等調査」

## 農業産出額のデータ

区分	熊本県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	4,116 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	6
米	545 億円 (13.2)	25,524 億円 (23.7)	15
麦類	4 億円	582 億円	13 *
雑穀	1 億円	87 億円	16
豆類	3 億円	621 億円	18
いも類	66 億円	2,565 億円	8
野菜	1,508 億円 (36.6)	25,510 億円 (23.7)	3
果実	419 億円 (10.2)	10,112 億円 (9.4)	7
花き	123 億円	3,423 億円	9
工芸農作物	67 億円	1,577 億円	5
その他作物	16 億円	583 億円	9 *
畜産	1,347 億円 (32.7)	36,654 億円 (34.0)	7
肉用牛	420 億円	7,861 億円	4
乳用牛	371 億円	10,035 億円	3
生乳	332 億円	8,937 億円	3
豚	294 億円	7,567 億円	10
鶏	232 億円	10,170 億円	19
鶏卵	103 億円	5,764 億円	20
ブロイラー	102 億円	4,259 億円	8 *
その他畜産物	28 億円	1,021 億円	4
加工農産物	18 億円	565 億円	7

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」  
注：( ) は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方  
 ・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用  
 ・表中に使用した記号は次のとおり  
 「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)  
 「-」：事実のないもの  
 「…」：調査を欠くもの  
 「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。  
 「\*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

# 熊 本 県 の 農 業 ( 2 )

- ・耕地面積は10万3,300haで全国14位。うち田が6万3,800ha、畑が3万9,500ha。
- ・農業経営体数は2万7,619経営体で全国7位。うち法人経営体数が1,187経営体で4位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は9,709経営体で全国3位。うち法人数が1,146法人で4位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が514億円で全国6位、事業数は850事業体で8位。

## 耕地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
耕地面積	103,300 ha	4,272,000 ha	14
田	63,800 ha	2,319,000 ha	13
畑	39,500 ha	1,952,000 ha	9
普通畑	22,600 ha	1,118,000 ha	14
樹園地	12,300 ha	248,600 ha	6
牧草地	4,560 ha	585,900 ha	6
参考) 総土地面積	7,409.13 Km <sup>2</sup>	377,979.74 Km <sup>2</sup>	15

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

## 荒廃農地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	11,526 ha	256,667 ha	7

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農業経営体数	27,619 経営体	836,054 経営体	7
法人経営体数	1,187 経営体	33,819 経営体	4
総農家数	38,051 戸	1,394,135 戸	12
販売農家数	26,311 戸	792,808 戸	7
参考) 世帯総数	719,154 世帯	55,830,154 世帯	24
集落営農数	374 集落営農	13,952 集落営農	16

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

## 担い手への農地の集積状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	55,819 ha	2,627,068 ha	11
集積率	54.0 %	61.5 %	16

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	40,036 人	1,036,228 人	4
男	24,911 人	659,332 人	5
女	15,125 人	376,896 人	5
65歳以上	25,075 人	721,311 人	6
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	62.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	9,709 経営体	212,136 経営体	3
法人数	1,146 法人	29,684 法人	4
参考) 人口総数	1,738,301 人	126,146,099 人	23

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

## 農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	51,386 百万円	1,006,107 百万円	6
	事業体数	850 事業体	26,910 事業体	8
農産物直売所	総額	51,509 百万円	1,134,381 百万円	2
	事業体数	560 事業体	20,960 事業体	16
観光農園	総額	467 百万円	39,113 百万円	25 *
	農業経営体数	60 経営体	4,350 経営体	23
農家民宿	総額	53 百万円	4,933 百万円	21 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	1,416 百万円	39,900 百万円	7 *
	事業体数	40 事業体	1,390 事業体	9

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

# 熊 本 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は162.9億円で全国7位。うち木材生産が140.4億円、栽培きのご類生産が21.1億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国6位、ひのき、竹材が全国2位、生きくらげ類、乾しいたけが3位、たけのこが4位、すぎが5位。

## 林業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業産出額	162.9 億円	4,769.8 億円	7
木材生産	140.4 億円	2,369.4 億円	3
栽培きのご類生産	21.1 億円	2,322.7 億円	24

出典：「令和6年林業産出額」

## 林野面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林野面積	468,736 ha	24,744,214 ha	18
国有林	62,815 ha	7,117,059 ha	17
民有林	405,921 ha	17,627,155 ha	17
人工林面積	279,644 ha	10,059,386 ha	9

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業経営体数	888 経営体	23,300 経営体	7
法人経営体数	111 経営体	3,813 経営体	10

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

## 林産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
素材生産量	920 千m <sup>3</sup>	19,763 千m <sup>3</sup>	6
針葉樹	898 千m <sup>3</sup>	18,398 千m <sup>3</sup>	6
すぎ	636 千m <sup>3</sup>	11,716 千m <sup>3</sup>	5
ひのき	261 千m <sup>3</sup>	3,019 千m <sup>3</sup>	2
広葉樹	22 千m <sup>3</sup>	1,365 千m <sup>3</sup>	14
乾しいたけ	生産量 147 t	1,574 t	3
生きくらげ類	生産量 121 t	1,693 t	3 *
たけのこ	生産量 1,991 t	20,865 t	4
竹材	生産量 146 千束	879 千束	2

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

## 製材工場数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
製材工場数	122 工場	3,547 工場	6
製材用素材の入荷があった工場数	122 工場	3,492 工場	6
国産材のみ	122 工場	3,013 工場	4
国産材と輸入材	- 工場	386 工場	-

出典：「令和6年木材統計」

# 熊 本 県 の 水 産 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は437億円で全国10位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のこのしろ、たちうおが全国3位、海面養殖業のまだいが2位、くるまえびが3位、内水面養殖業のうなぎが6位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が31億円で全国15位、事業体数は50事業体で5位。

## 漁業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	437 億円	14,785 億円	10
海 面 漁 業	49 億円	8,894 億円	31 *
海 面 養 殖 業	388 億円	5,891 億円	4 *

出典：「令和6年漁業産出額」

## 漁業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,166 経営体	65,662 経営体	10
内水面漁業経営体数	65 経営体	4,076 経営体	21

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁業就業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	4,121 人	121,389 人	9
男	3,299 人	109,757 人	12
女	822 人	11,632 人	5

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 漁船隻数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
漁船隻数	4,006 隻	109,284 隻	8
動力漁船	2,262 隻	58,907 隻	9

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

## 水産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	54,518 t	3,589,121 t	17 *
海面漁業漁獲量	11,278 t	2,786,195 t	31
このしろ	279 t	3,756 t	3 *
たちうお	394 t	4,192 t	3
海面養殖業収穫量	43,240 t	802,927 t	8 *
まだい	10,717 t	68,439 t	2 *
くるまえび	231 t	1,383 t	3 *
内水面漁業・養殖業生産量	350 t	47,046 t	18 *
内水面漁業漁獲量	11 t	17,915 t	30
あゆ	10 t	1,414 t	16
内水面養殖業収穫量	339 t	29,131 t	13
うなぎ	154 t	16,674 t	6

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

## 漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	3,058 百万円	193,147 百万円	15
	事業体数	50 事業体	1,160 事業体	5
水産物直売所	総額	611 百万円	34,259 百万円	20 *
	事業体数	20 事業体	780 事業体	11
漁家民宿	総額	14 百万円	5,440 百万円	31 *
	漁業経営体数	10 経営体	540 経営体	13
漁家レストラン	総額	348 百万円	13,511 百万円	12 *
	事業体数	10 事業体	380 事業体	8

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

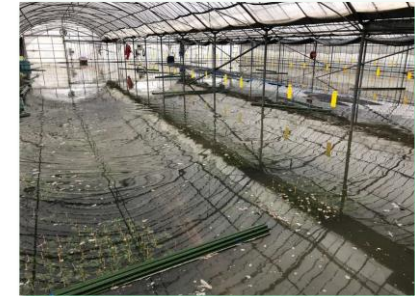
# 熊本県の農林水産業の話題等

## 令和7年8月豪雨への対応

令和7年8月10日の豪雨により、農業ではトマト苗等の冠水、いぐさ原草や畳表等の浸水、園芸施設の暖房機やいぐさ専用機械等の水没、農地への土砂流入、用排水施設の浸水等の被害が発生。林業では林道の法面崩壊や山腹崩壊、水産業ではあさり・ハマグリ保護区の柵の破損等が発生した。これにより熊本県の被害額は約861億円と、熊本地震、令和2年7月豪雨に次いで3番目に大きい額となった。

県では、被災農林漁業者向けの金融相談窓口を設置。農業者に対しては、農作物技術対策を発出するとともに、営農継続に向けた相談窓口を設置。野菜苗、いぐさ、しょうが、大豆において関係団体とプロジェクトチームを立ち上げ、代替苗の確保やいぐさ専用機械の修繕支援、生育回復に係る支援を実施。また、排水機場の復旧・強靱化に向けた特別対策チームも設置し、再度災害防止に向け施設の強靱化の検討や速やかな復旧を実施。

令和7年11月には激甚災害に指定され、農地・農業用施設、林道等の災害復旧事業の補助率が嵩上げされたことも強力な後押しとなっており、国の支援策も活用しながら速やかな復旧に取り組んでいる。



トマト苗の冠水



大豆被害状況確認を支援

## 「食のみやこ熊本県」の創造に向けた動き

令和7年7月、「熊本の食で世界を魅了し、農・食関連産業が活性化しながら県民が豊かになる」ことを目指す「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョンを策定。①熊本の「食」の基盤構築、②高付加価値化と消費拡大、③農・食関連産業の集積とイノベーションの3本柱で取り組みを進めているところ。

ビジョンに沿って同年11月に、県内食関係者のネットワーク構築を目的とした交流会を実施。また、令和8年2月には、熊本市の花畑広場一帯において県内最大級の農・食イベント「食のみやこ熊本 ミツ星グルメフェス&ファーマーズマーケット」を開催し、2日間で約5万人が来場。

「食のみやこ熊本県」の創造に向けて、さらなる国内外への食のPRや販路拡大等に取り組む。



食のみやこ熊本 ミツ星グルメフェス

## 「熊本県いぐさ・畳の振興に関する条例」の制定

令和7年2月議会において、「熊本県いぐさ・畳の振興に関する条例」が制定された。本条例は、国産いぐさ産地の存続が危ぶまれている中、県、市町村、生産者、関係団体、事業者及び県民が一体となって日本一のいぐさ産地を守り、畳に関する伝統と文化を将来へ繋いでいくため制定されたもの。

県ではこれまでも県産いぐさ・畳の振興に向けた施策を展開してきたが、本条例の基本理念に基づき国や関係機関と連携して、さらなる振興に取り組む。



熊本県産いぐさ畳表